



## イノプロム 2017

## 日本側主催分科会①「産業効率化分野における協力」



2017年7月5日現在

日本の製造業においては、生産効率の最適化を目指し、長期間にわたる試行錯誤の積み重ね、また多くの成功事例が存在する。日本の製造業が国際競争力を高めてきた背景には、生産現場において導入された様々な新技術によって支えられてきた。イノプロム 2017 のテーマがスマートマニュファクチャリングであることから分かるように、ロシアにおいても製造業だけでなく、サービス部門における効率改善と新技術の導入は喫緊の課題となっている。本分科会では、産業の効率改善及び生産性向上の分野における日ロ間の協力の可能性を検討する。現在、日ロ間では、両国政府の合意に基づき、日本の専門家による生産性診断と改善指導が実施されている。本分科会ではロシア側からはその対象企業が参加する。

**会議名：**日本側主催分科会「産業効率化分野における協力」

**日時：**2017年7月10日（月）13:00-14:30

**場所：**国際展示センター「エカテリブルグ EXPO」

第4パビリオン/ホール4

**モデレーター：**岡田邦生 ロシア NIS 貿易会ロシア NIS 経済研究所所長

**パネリスト：**

（日本側）

鈴木正徳 日揮 取締役・常務執行役員

高木 登 Kawasaki Robotics GmbH 社長

植村憲嗣 三菱電機 執行役員・産業政策渉外室室長

（ロシア側）

ジカエフ 金属加工イノベーションテクノロジー社長

クリマチェフ イストーク・オーディオ副社長

ビリュコフ ペガス・アグロ主任技師

イワノフ産業商業省工作機械・産業機械局長

**会議形式：**ダボス形式 / **言語：**日本語及びロシア語（同時通訳） / **参加者数：**60～80名

**次第：**

- 13.00-13.05 モデレーターによる挨拶・趣旨説明
- 13.05-13.15 鈴木正徳 日揮 取締役・常務執行役員の発言
- 13.15-13.25 ジカエフ 金属加工イノベーションテクノロジー社長
- 13.25-13.35 高木 登 Kawasaki Robotics GmbH 社長の発言
- 13.35-13.45 クリマチェフ イストーク・オーディオ副社長の発言
- 13.45-13.55 植村憲嗣 三菱電機 執行役員・産業政策渉外室室長の発言
- 13.55-14.05 ビリュコフ ペガス・アグロ主任技師の発言
- 14.05-14.10 イワノフ産業商業省工作機械・産業機械局長のコメント
- 14.10-14.25 質疑応答、ディスカッション
- 14.25-14.30 モデレーターによる総括